



子育て支援センター『バンビーニ広場』  
バンビーニ通信

2023年9月号【vol123】

社会福祉法人 地球の子ども会 ちゃいるどはうす保育園内  
子育て支援センター『バンビーニ広場』  
水戸市笠原町150番地 受付時間 10:00~15:00  
TEL: 029-241-5007 FAX: 029-241-5012  
HP: www.childhouse.ed.jp 担当: 村上・荘司



## お月見

お月見とは、月の満ち欠けが農作業の大きな指標になっていたことから、月への感謝と豊作の祈願をしたものです。平安時代に、「中秋の名月」を祝う習慣として一般的になりました。だんごやさといもなど月に見立てた丸い物と、葉先のとんがりに邪気をはらう力があるとされているススキや秋の七草をお供えます。ご家庭でも丸い物を食卓に並べて、お月見気分を味わってみましょう。



## 食材を五感で感じよう

秋といえば「食欲の秋」。ぜひ親子でいっしょに食材に触れる機会を作りましょう。例えば、泥がついたじゃがいも。洗う前、表面はぼこぼこに感じます。しかし、皮をむくと、つるつとした手触りになり、白いでんぷんが出てきます。鍋に入れて煮ると、よい香りがして、ほっくりとした食感に大変身。このように、たった1つの食材でも、子どもたちは実際に体感することで、食への興味が深まり、食べ物がよりおいしく感じられることでしょう。家庭でも、いろいろな食材に触れ、五感で感じる体験をしてみましょう。

## 7月子育て塾レポート (自己教育力と敏感期)

今回は、モンテッソーリ教育の自己教育力と敏感期について学びました。「子どもは、生まれながらに自分で育つ力をもっている」(自己教育力) その力は、敏感期(何度も繰り返し関わろうとする姿)として現れます。その力を引き出してあげるためには、子どもをよく見つめ、それを静かに見守ったり励ましたりする大人の存在が大切です。とのお話に皆さん熱心に耳を傾けていました。また、運動、感覚、秩序、話しことば、書きことば、数の敏感期をパワーポイントを使い具体的に説明していただき「あるある」「なるほど」と納得され、子どもの集中する姿を大切に见守っていきたいと思いますとのお声が聞かれました。最後に、愛を持って、泣いて怒って笑って喜んでママも子どもも感情豊かに「今」を楽しみましょう。とエールを頂き、お母さま方も安心し悩みを相談する姿がみられました。

## 防災の日

9月1日は「防災の日」です。いざという時に備えて、ぜひ家族全員で確認をしてみましょう。

### 〈非常時の持ち出し品の準備〉

リュックの中には非常時の持ち物を詰めておきましょう。

### 〈乳幼児のための持ち出し袋〉

乳幼児がいる家庭では、次のようなものが必要になります。最低3日分は用意しておきましょう。

- ・紙おむつ・着替え・常備薬
- ・体温計・履き替えの靴・おやつ・毛布・赤ちゃんがいるなら粉ミルクと哺乳瓶など。

その他、かさばらない玩具や折り紙や子どもが好きな遊び道具をいれておくと、避難所で役に立ちます。

### 〈避難する場所〉

避難場所がどこなのか、そこまでの経路を確認しておきましょう

### 〈地震で倒れやすい物がないか〉

棚の上に置いてある物は下ろし、倒れそうな物などは固定するなどの工夫をしましょう。

### 〈家族がはぐれた場合の連絡方法〉

はぐれた時の待ち合わせ場所や緊急連絡先はいつも身に付けるようにしましょう。



## ★絵カード作り★

バンビーニ広場にて、絵カード作りを行います！  
言語の敏感期でもあるこの時期に絵カードを作り親子で言葉のやりとりを楽しみませんか？